

事業所名

放課後等デイサービス みかたっこ

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

25日

法人（事業所）理念		発達障害や適応障害、社交不安障害、HSCなどによって園や学校での学び辛さや過ごし辛さ、生きづらさを抱える幼児～高校生年代の、支援が必要な当事者や家族の支援に関する事業を行い、当事者の能力の向上を目指し、 みらいのか のうせいを た かめることに寄与することを目的とする。 具体的には、高校卒業資格を取得できることをめざし、利用児が在籍する学校のみならず、隣接するみかた麹杜高等学院とも連携し、福祉と教育の連携を大切にする。							
支援方針		<p>1 園や学校での学び辛さや過ごし辛さを感じている障害児の「みらいの かのうせいを たかめる」ために、個別療育と集団療育を組み合わせ、次のことを大切にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安心して過ごせる居場所としての役割 ○ 発達障害児が持っている強みの認知特性を大切に学習教材を使用し、書くことが苦手な特性の子供たちには、カード教材、オンライン教材「すらら」などを活用する。 ○ 苦手な特性を補うためのICTスキルの獲得に配慮した学びのリハビリや動きのスキル習得をめざす。 ○ 限局性学習症（LD）児のアセスメントでは観察だけではなく、KABC-IIなど必要な検査結果を参考にし、エビデンスに基づいて療育プログラムを作成する。 ○ 脳腸相関を大切に考え、おやつや昼食の提供では、ミネラル食、発酵食品、残留農薬低減等に留意した食材を提供し、腸内環境を整える。 <p>2 みかた式のLD児への療育が効果的だと考えられる、文字の習得や基礎的な計算の習得につまずいている軽度な知的障害児も療育の対象とする。</p>							
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	○視覚的なスケジュール提示 ○構造的な空間作り ○ミネラルや発酵食の摂取 ○マインドフルネス 等					→詳しくは、写真資料に掲載		
	運動・感覚	○体幹トレーニング ○コーディネーショントレーニング ○感覚遊び ○色に着目した見え方への配慮 ○散歩、川遊び 等					→詳しくは、写真資料に掲載		
	認知・行動	○右脳活用トレーニング ○集中力トレーニング ○空間認知力のためのパズルやボードゲーム ○数概念 ○認知行動療法 等					→詳しくは、写真資料に掲載		
	言語 コミュニケーション	○ひらがな、カタカナ等のデコーディング ○音素法によるローマ字習得 ○フォニックス ○コミュニケーションが必要なボードゲーム 等					→詳しくは、写真資料に掲載		
	人間関係 社会性	○人の思いを受け入れ合うボードゲーム ○他の利用者さんのためのおやつ作り ○絵カードを使った感情の整理					→詳しくは、写真資料に掲載		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者迎え時の療育の様子のお伝えの充実（療育の内容や様子 等） ・親の会の実施（おしゃべり会 学習会 等） ・保護者の合理的配慮の申請の補助 ・食からのアプローチ支援（研修会 ミネラル食や発酵食作り教室 等） 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・小学生～中学生 自閉・情緒学級から通常級への転籍相談 ・中学生 高校進学先に向けての支援 ・高校生 職場や就労移行支援施設等の体験 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・在籍学校との連携 ・地域の社会資源を活用し、遊びや体験、交流の場を広げる。 （丸小山公園、やまなみファーム、ピコテラス 等） 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・県等が主催する研修会に担当者の出席→事業所内での伝達 ・事業所内で主催する研修を週1回の打ち合わせ時に設定 特に、LDの療育のためのアプローチ法など 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいまつり」（食をテーマにしたイベント 防災をテーマにしたイベント開催 野菜販売 等） ・地域のイベントへの参加（さくらおろち湖まつり 春殖地区文化祭 夏休み馬木地区での活動 お絵描きイベント等） 					→詳しくは、写真資料に掲載		